

岩手県大船渡市碁石海岸のクモ

渡辺修二

Spiders at Goishi Coast, Ofunato City, Iwate Prefecture

Shuji WATANABE

岩手県立博物館 020-0102 盛岡市上田字松屋敷34 Iwate Prefectural Museum, Ueda Matsuyashiki
34, Morioka City, 020-0102, Japan.

Abstract

On September 15 and 20, 2020, 27 species of spiders belonging to 10 families, including the first record of *Calommata signata* in Iwate Prefecture in 45 years, were found on the trail at Goishi Beach, Ofunato City.

はじめに

2020年9月20日に、大船渡市碁石海岸において岩手県立博物館第80回自然観察会兼大船渡市立博物館自然観察会を実施した。観察会当日とそれに先立ち9月15日に行ったコースの下見の際に採集あるいは目視確認したクモを報告する。

方法

2020年9月15日及び20日に、大船渡市末崎町の碁石海岸付近で、クモを採集あるいは目視確認した。採集した標本は、約70%のエタノールを入れたスクリュウ管に入れて保管した。標本の同定は小野(2009)を参照し、標本を双眼実体顕微鏡(Nikon SMZ745)で検鏡し、オスは触肢、メスは外雌器の構造をもとに同定した。幼体は形態および斑紋をもとに同定した。

結果

岩手県で45年間生息が確認されていなかったワスレナグモ *Calommata signata* Karsch 1879 (写真1)を含む、10科27種のクモを確認した。確認されたクモは以下のリストのとおりである。リストには、成体幼体の別及び雌雄が確認できた場合はそれらを示したほか、採集したクモについては岩手県立博物館所蔵標本番号を示した。

標本リスト

ジグモ科 Atypidae

ジグモ *Atypus karschi* Dönitz 1887

巢のみ確認

ワスレナグモ *Calommata signata* Karsch 1879

オス成体 IPMM245349

ヒメグモ科 Theridiidae

アシプトヒメグモ *Anelosimus crassipes* (Bösenberg & Strand 1906)

幼体 IPMM245173

オナガグモ *Ariamnes cylindrogaster* Simon 1889

オオヒメグモ *Parasteatoda tepidariorum* (C. L. Koch 1841)

幼体 IPMM245171

コガネグモ科 Araneidae

ヌサオニグモ *Araneus ejusmodi* Bösenberg & Strand 1906

幼体 IPMM245166

イシサワオニグモ *Araneus ishizawai* Kishida 1920

メス成体

ヤエンオニグモ *Araneus macacus* Uyemura 1961

幼体

ヤマオニグモ *Araneus uyemurai* Yaginuma 1960

幼体 IPMM245170

ニシキオニグモ *Araneus variegatus* Yaginuma 1960

メス成体 IPMM245174

オニグモ *Araneus ventricosus* (L. Koch 1878)

ナガコガネグモ *Argiope bruennichi* (Scopoli 1772)

コガタコガネグモ *Argiope minuta* Karsch 1879

ヤマトゴミグモ *Cyclosa japonica* Bösenberg & Strand
1906

メス成体 IPMM245168

ヨツデゴミグモ *Cyclosa sedeculata* Karsch 1879

幼体

ドヨウオニグモ *Neoscona adianta* (Walckenaer 1802)

ワキグロサツマノミダマシ *Neoscona mellottei* (Simon
1895)

サツマノミダマシ *Neoscona scylloides* (Bösenberg &
Strand 1906)

ジョロウグモ *Trichonephila clavata* (L. Koch 1878)

メス成体, オス成体, メス幼体

アシナガグモ科 Tetragnathidae

ヤマジドヨウグモ *Zhinu reticuloides* (Yaginuma 1958)

メス成体 IPMM245167

タナグモ科 Agelenidae

クサグモ *Agelena silvatica* Oliger 1983

コクサグモ *Allagelena opulenta* (L. Koch 1878)

キシダグモ科 Pisauridae

イオウイロハシリグモ *Dolomedes sulfureus* L. Koch
1878

メス成体

コモリグモ科 Lycosidae

ウヅキコモリグモ *Pardosa astrigera* L. Koch 1878
幼体 IPMM245169

カニグモ科 Thomisidae

ワカバグモ *Oxytate striatipes* L. Koch 1878

エビグモ科 Philodromidae

シャコグモ *Tibellus japonicus* Efimik 1999
幼体 IPMM245172

ハエトリグモ科 Salticidae

ウススジハエトリ *Yaginumaella striatipes* (Grube 1861)

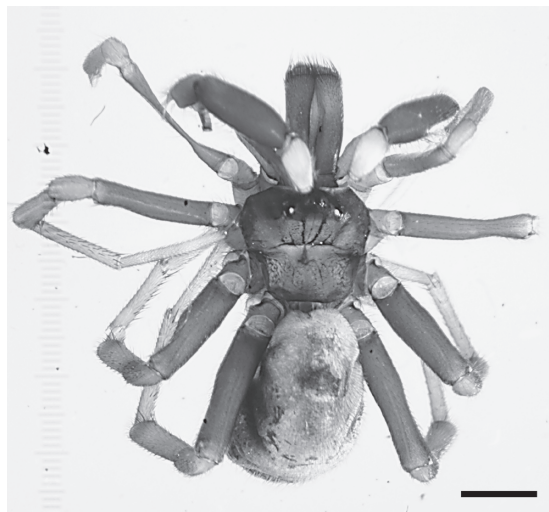


写真1 ワスレナグモ 左：背面, 中：上顎及び下顎, 右：触肢
標本番号 IPMM245349 スケールバー 1.0mm

考察

今回観察および採集を行った碁石海岸の遊歩道は、周囲にアカマツが多く、地表には松葉が堆積していたほか、イネ科などの草本類が生育していた。全体的に土壌はやや乾燥していた。

全体を通して最も個体数が多かったのはジョロウグモで、そのほかヤマトゴミグモとヨツデゴミグモが多かった。松葉に産み付けられたヤマトゴミグモの卵のうも数多く見られた。次いでオナガグモ、コクサグモが比較的多く見られた。

一般的に、公園や山道などを歩く際はコモリグモ類をよく見かけるが、今回は遊歩道付近ではほとんど見つからず、堆積していた松葉をかき分けて、ようやく数頭の幼体を見かけたただけであった。また、落葉層に生息するクモもほとんど見られなかった。松葉の堆積層は、広葉樹の落葉層に比べて密度が高く、更に今回の調査地では乾燥していたため、これらのクモの生育に適さない環境であったと考えられる。ウツキコモリグモが見られたのは海辺だけであり、枯死した植物が堆積していた周辺で多く見られた。オオヒメグモが見られたのも、その堆積物付近のコンクリートブロックの陰だけであった。また、ヤマジドヨウグモも遊歩道では見られず、海岸の湿った崖のくぼみに網をかけていた。

コガタコガネグモは、岩手県では主に一関市など県南部で見られるクモで、岩手県は本種の太平洋側の北限となっている（新海ら 2020）。沿岸部では今回初めて生息が確認された。

今回、大船渡市立博物館の建物付近を歩いていたワスレナグモのオス成体を偶然発見して採集した。当初これをジグモのオスと誤認していたが、実体顕微鏡で検鏡した際に上顎の形状および触肢先端の構造からワスレナグモであると同定した。本県では、水沢市立南中学校科学部の生徒による採集記録があるが、その生息地は既に失われている（角田ほか 1975, 多田野 1980, 渡辺 2021）。本種は環境省のレッドリストで準絶滅危惧種に分類されており（環境省 2020）、県内での生息地は現在のところここだけである。また、本県が太平洋側の北限となることから、本種を岩手県レッドデータブックに掲載すべきであろう。今後の調査で巣穴を確認し、管理者に生息地の保全を働きかけたい。

引用文献

- 角田朝雄・佐藤重秀・阿部寿幸・斉藤修・佐藤成也・斉藤茂・巴信博・小野寺圭一・亀井真（1975）クモの研究。昭和 50 年度科学部研究紀要 pp33-60. 水沢市立南中学校科学部。
- 環境省（2020）環境省レッドリスト 2020. 環境省。
<https://www.env.go.jp/press/files/jp/114457.pdf>（参照 2021/03/01）
- 小野展嗣（編著）（2009）日本産クモ類。東海大学出版会、秦野市。
- 新海明・安藤昭久・谷川明男・池田博明・桑田隆生（2020）CD 日本のクモ ver. 2020.
- 多田野恒治（1980）ワスレナグモの発見とその絶滅の経緯について。昭和 54 年度科学教育発表会（教員の部）資料。
- 渡辺修二（2021）岩手県立博物館調査研究報告書 35 岩手県立博物館に寄贈された片岡佐太郎氏クモ類調査記録。岩手県立博物館，盛岡市。

要 旨

2020 年 9 月 15 日及び 20 日に、大船渡市碁石海岸の遊歩道で、岩手県で 45 年ぶりの記録となるワスレナグモを含む 10 科 27 種のクモを確認した。

キーワード：クモ採集記録, ワスレナグモ, 大船渡